

## 企業版ふるさと納税の効果検証について

## 1 制度の概要

目的	地方創生の更なる充実・強化に向けて、民間資金を活用して地方公共団体の地方創生への取組を後押しすること										
概要	地方公共団体が実施する地方版総合戦略に位置付けられた事業（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）に対して民間企業等が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度										
対象事業	地方版総合戦略に位置付けられた事業で、実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））の設定、評価方法（PDCA サイクル）の整備により効率的かつ効果的に実施される新規又は拡充事業										
税制措置の内容	<p style="text-align: center;"><b>← 軽減効果最大約9割 →</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ccccff; text-align: center;">損金算入による軽減効果 国税+地方税 <b>約3割</b></td> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">①法人住民税+②法人税 <b>4割</b></td> <td style="background-color: #ffff00; text-align: center;">③法人事業税 <b>2割</b></td> <td style="text-align: center;">企業負担 <b>約1割</b></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">← 通常の寄附 →      ← 企業版ふるさと納税を活用した寄附 →</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 法人住民税</td> <td>寄附額の4割を税額控除(法人住民税割額の20%が上限)</td> </tr> <tr> <td>② 法人税</td> <td>法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)</td> </tr> <tr> <td>③ 法人事業税</td> <td>寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)</td> </tr> </table>	損金算入による軽減効果 国税+地方税 <b>約3割</b>	①法人住民税+②法人税 <b>4割</b>	③法人事業税 <b>2割</b>	企業負担 <b>約1割</b>	① 法人住民税	寄附額の4割を税額控除(法人住民税割額の20%が上限)	② 法人税	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)	③ 法人事業税	寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)
損金算入による軽減効果 国税+地方税 <b>約3割</b>	①法人住民税+②法人税 <b>4割</b>	③法人事業税 <b>2割</b>	企業負担 <b>約1割</b>								
① 法人住民税	寄附額の4割を税額控除(法人住民税割額の20%が上限)										
② 法人税	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)										
③ 法人事業税	寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)										
実施期間	2020年度から2024年度まで										
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本社が所在する地方自治体への寄附については対象外</li> <li>・ 1企業における寄附は10万円から</li> <li>・ 寄附を行うことの代償として経済的な利益供与は禁止</li> </ul>										

## 2 寄附の状況

2021年度（令和3年度）実績：1,000万円

## 【寄附を受けた事業】

	事業名	金額	寄付者
1	豊かで安全な海づくり事業	1,000万円	株式会社ダイセキ (愛知県名古屋市)

### 3 寄附を受けた事業（2021年度（令和3年度）の効果検証）

#### (1) 2020年度（令和2年度）開始事業

事業名	明石まちなか図書館 —「いつでも、どこでも、だれでも」手を伸ばせば本に届くまち—				
寄付金額	2020年度：1,000万円				
寄附者	信金中央金庫（東京都中央区）				
主管課	政策局シティセールス推進室本のまち推進課				
総合戦略基本目標	基本目標3 まちの賑わいを高める				
事業目的	施設の待合いスペース等に本棚と図書（100冊程度）を設置して、待ち時間をより豊かな時間にするとともに、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、手を伸ばせば本がある環境を作ること、本市の主要施策である「本のまち明石」の推進を図る。				
事業内容（2021年度）	2021年度は、日新信用金庫市内10店舗での「明石まちなか図書館」の開設を目指して選書や書籍の購入などを行った。（2022年4月開設済）				
事業費（千円）		1年目(2020)	2年目(2021)	3年目(2022)	合計
	予定額	100	4,760	5,240	10,100
	実績額	100	4,760		
	寄附金充当額	100	4,760		
重要業績評価指標（KPI）	①明石まちなか図書館の蔵書数（2022年度：2,200冊） ②図書館等での本の貸出冊数（2022年度：300万冊）				
実績値		1年目(2020)	2年目(2021)	3年目(2022)	結果
	KPI①	68	1,010		
	KPI②	2,601,785	2,905,252		
事業効果	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年4月の明石まちなか図書館開設に向けて、日新信用金庫、市立図書館、市の三者で協力して、選書や書架の構造、貸出の運用方法など事業内容の構築ができ、三者間の連携の強化を図れた。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日新信用金庫の市内10店舗で明石まちなか図書館を運営するとともに、市民活動支援を行う明石コミュニティ創造協会と連携して、市内の本のある場所と人をつなぎ、市全体で本のまちを推進する機運の醸成や環境づくりに取り組む。</li> </ul>				
外部有識者（あかしSDGs推進審議会委員）の評価	<p>(1) 評価（該当する番号に○）</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった。</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。</p> <p>(2) 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年4月の日新信用金庫10店舗の開設により、蔵書数が増加するとともに、選書など市立図書館と連携した体制が構築できており、円滑な運用が期待できる。</li> <li>スマホ利用が拡大するなか、図書離れが進む若者の利用を拡大できるような情報発信を進めていく必要がある。</li> <li>今後、明石コミュニティ創造協会など関係機関と連携し、市民に親しまれる明石まちなか図書館の拡大を図るとともに、図書館等の利用にもつながるような相乗効果を意識した取組を進めていただきたい。</li> </ul>				

(2) 2021年度（令和3年度）開始事業

事業名	豊かで安全な海づくり事業			
寄付金額	2021年度：1,000万円			
寄附者	株式会社ダイセキ（愛知県名古屋市）			
主管課	政策局：シティセールス推進室シティセールス課 市民生活局：豊かで安全な海づくり推進室、環境室環境創造課			
総合戦略基本目標	基本目標2 新たな人の流れをつくる、基本目標3 まちの賑わいを高める			
事業目的	2022年11月に開催される第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会を契機として、海づくりに関する啓発や催事、水産資源の保全活動などに、市民や事業者などと連携しながら取り組む。また、将来にわたり市民が自然の恵みを楽しむとともに、まちへの愛着を醸成していくことを目指す。			
事業内容 (2021年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パピオス明石5階に「あかし豊かな海づくりコーナー」を開設</li> <li>・豊かな海づくりプレ大会に合わせて開催した「さかなクントークショー」の参加者に、さかなクンのイラスト付きオリジナルマイボトル配布</li> <li>・産卵用タコつぼの投入</li> <li>・漁業協同組合と連携した海洋ごみの処分</li> </ul>			
事業費 (千円)		1年目(2021)	2年目(2022)	合計
	予定額	3,068	76,182	79,250
	実績額	3,068		
	寄附金充当額	2,968		
重要業績評価指標 (KPI)	①マダコの漁獲量（2022年度：1,000t） ②海洋ごみの処分量（2022年度：5t）			
実績値		1年目(2021)	2年目(2022)	結果
	KPI①	133		
	KPI②	0.5		
事業効果	<p><b>【事業を実施した効果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あかし豊かな海づくりコーナー」を開設し、市内の小学生・高校生の研究発表や明石たこ大使さかなクンの活動を通して、明石の海や豊かな海づくりについて学ぶことができるようにし、周知・啓発に取り組んだ。</li> <li>・オリジナルマイボトル1,000個を、子どもたちをはじめ市民へ配布し、海洋プラスチックごみの原因となるペットボトルの使用削減に向けた啓発が図られた。</li> </ul> <p><b>【今後の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな海づくり大会に向けたプロモーションを進めるとともに、施肥・産卵用たこつぼの投入など資源量の回復にも取り組む。</li> </ul>			
外部有識者 (あかしSDGs推進審議会委員) の評価	(1) 評価（該当する番号に○） ① 本事業は、地方創生のために有効であった。 ② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。 (2) 意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋ごみ対策にも漁業協同組合と連携して取り組むとともに、豊かな海づくりプレ大会を契機とした市民向けの啓発を充実するなど、パートナーシップによる取組が進められている。</li> <li>・事業として大いに効果があったが、豊かで安全な海づくりのために、漁業関連廃棄ごみなど海洋プラスチックごみ問題に今後も積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"><li>・水産資源の保全、回復には長期の継続した取組が重要であり、市民、事業者、行政が一体となって持続可能な豊かで安全な海づくりに取り組んでいただきたい。</li></ul>
--	---